

《埼玉協同病院だより》

ふれあい

2015年 No.335

発行：医療生協さいたま
埼玉協同病院

〒333-0831 川口市木曾呂1317
Tel.048-296-4771
Fax.048-296-7182

ホームページ：http://www.kyoudou-hp.com

9



原水禁世界大会報告会
内で学習講演（1時間
程度）を行います。

アジアのおばあちゃんに聞く“日本”の姿

日時 2015年9月11日(金) 17:30～19:00

場所 ふれあい会館

講師 牧野佳奈子さん

戦前戦中に日本が支配したアジア諸国で、当時を知る女性たちに日本人とのエピソードを尋ね歩いた。場所は、中国（旧満州）、韓国、ロシア（サハリン）、台湾、パラオ、マリアナ諸島、フィリピン。戦争や開拓のために海を渡った日本人たちは、現地で、その土地の人たちにどのような振る舞いをしていたのか。おばあちゃん達のエピソードから、日本人らしさとは何か、また日本人として反省すべきことは何かを考えたい。



講師プロフィール●名古屋在住のフリージャーナリスト/カメラマン。テレビ報道記者を退職後、世界一周を経てフリーに。文化、環境、平和の問題について取材し、雑誌やラジオ、講演などで発表している。NPO法人こどもたちのアジア連合広報理事、多文化市民メディアDIVE.tv代表を務めるなど、ボランティアでの実践活動も行っている。

被爆70周年

原水禁世界大会

8月 広島：4日～6日
長崎：7日～9日

参加

反戦・反核の大きな取り組みとなる大会への参加者から感想を聞きました。

薬剤科 薬剤師1年目
井澤茉莉香さん（埼玉県出身）

今までどこか他人事であった核問題が、被爆者の方々、核廃絶に向けて活動している方々の話を聞くことで、この場所で残酷な出来事が起こったのだと実感しました。また、海外でも多くの方が核廃絶に向けて活動しているのだと知りました。真実を知ろうと臨みましたが、写真や映像が写しだされたときには目を背けてしまいました。改めて核を保有することは何の利益もないのではないかと感じました。

被爆者の方々の体験、フランスの平和団体の核廃絶への取り組みや現状を伺いました。建物疎開により多くの中学生が犠牲になったことはあまり詳しく知らないことでした。被爆者は、肉体的な苦痛だけでなく精神的にも社会的にも追い詰められていたということを改めて学びました。被曝による影響は70年経った現在でも続いており、2世、3世までに及ぼす影響は今も調査が必要であるということを知りました。フランスでは核抑止論が必要であると考えている国民がまだまだ多く、広島や長崎で起こった事実を知らない人が多くいると知りました。



C3産婦人科病棟 助産師2年目
石田真由美さん（広島県出身）

各国や日本全国より、戦争や原水爆に対する思いや活動していることなどを色々お聞きしました。世界の世論は原水爆禁止に傾いていることが分かりました。また、みんなの思いが一つの方向を向いていると再認識しました。原水爆禁止に向けて一人ひとりの力が必要であると思うので、民医連や団体などと団結し協力していきたいと思いました。

私は「映像のひろば」という分科会に行きました。アメリカ軍は原爆の威力を調査するため、投下2～3ヶ月後にカラー映像で撮影したとのことで、建物の破壊状況、被曝された方の状態、復興に向けて被爆者が土地を開拓している様子などを約2時間半みることが出来ました。特に衝撃を受けたのは、被爆者のケロイドの様子です。原爆投下されて約50年後の被爆者のお話もありましたが、ケロイドの跡が50年後でも分かり、原爆症で苦しんでおられました。このような悲惨な原爆を2度と落としてはいけないと強く思いました。

生協強化月間

(10月1日～11月30日)にご協力を

全国の医療生協では生協法が施行された10月1日から11月30日までを、毎年生協強化月間と位置づけ生協を強く大きくする活動に取り組みます。この間当院は、埼玉県より4月にがん診療指定病院の指定、無料低額診療事業の認定を受けることができ、県南地域の病院としての公的な役割が増しています。私たちは皆様からお預かりした出資金をもとに、検査機器や治療設備の充実を図り、より質の高い医療を組合員の皆様とともに作り上げていきます。生協強化月間中のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。
(地域活動委員会 遠藤正夫)



乳がん検診は、 自分のために ご家族のために

ピンクリボン運動は、乳がん撲滅のための啓発活動です。乳がんの正しい知識を広め、乳がん検診の早期受診を推進することなどを目的として行われている世界規模のキャンペーンです。日本人女性のうち、乳がんを発症する割合は約12人に1人とされています。“もっと乳がんに関心を持ってほしい、乳がんで悲しい思いをする人を少しでも減らしたい”埼玉協同病院ではそんな願いをこめてピンクリボンバッジを作りました。

検診率60%の欧米諸国に比べ、30%程度と低検診率の日本。川口市の検診受診率は更に低く、14.3%しかありません。家事や子育て、仕事で忙しい方こそ、まずは乳房の自己チェックをしましょう。マンモグラフィや超音波の検診で早期発見を目指しましょう。

もし気になる『しこり』や症状がある方は、ためらわずに乳腺外科へご相談ください。当院の検診は女性技師が対応しています。安心してお越しください。

(日本看護協会認定 乳がん認定看護師 小平悦子)



「孫と一緒に」広場

小児科医と助産師から、今と昔の子育ての違いについてお話しさせていただきます。その中から、祖父母としてどのように孫や「パパ・ママ」と関わっていけば良いかを見つめるきっかけになればと思います。どうぞお気軽にお問い合わせ、ご参加ください！



日時：2015年10月1日(木) 13:30～16:00 (13:00受付開始)

場所：産婦人科外来 多目的ルーム

金額：1,500円(ご夫婦で参加の場合は2名で1,500円)

定員：15名

申し込み方法：産婦人科外来受付または電話

電話番号：048-296-4771(代) 受付時間：月～金 14:00～17:00

整形外科部長
仁平医師 講演会

事前申し込み不要

9月29日(火) 15:00～ ふれあい会館

テーマ 人工股関節手術について



